

令和 7 年度第 1 回坂出市地域公共交通活性化協議会会議録	
日 時	令和 7 年 6 月 2 5 日(水) 1 0 時 3 0 分～1 1 時 5 0 分
場 所	坂出市役所本庁舎 3 階中会議室 2
出 席 者	(委 員) 土井会長、宮崎副会長、櫻又委員、成澤委員(岡委員代理)、齊藤委員、川滝委員、入江委員、松浦委員、川崎委員、上野委員、池内委員、河田委員、山下委員、浦田委員、香川委員、林委員、溝渕委員、宮城委員、濱崎委員 以上、19 名 (事務局) 政策課 山家課長、福崎課長補佐、亀井係長
欠 席 者	松下委員
オブザーバー	山本オブザーバー (四国運輸局)
傍 聴 者	委員随行 1 名、傍聴者 1 名
議事次第	1. 開会 2. 議題 (1) 坂出駅周辺再整備について (報告) (2) 令和 6 年度決算報告および令和 7 年度予算 (案) について (3) 地域公共交通の現状報告・分科会報告について (4) 令和 7 年 1 0 月からの運行計画等について (5) バリアフリー車両の購入について (6) その他 3. 閉会
会 議 概 要	
議題(1) 坂出駅周辺再整備について (報告)	
発 言 者	発言要旨
坂出市 公民連携課 (報告者)	≪資料 1 に基づき説明≫

議長	・先ほどの報告に対して質問等はあるか？
副会長	・駅を挟んで路線バスが駅南側、タクシーが駅北側ということである。他地域の同様の事例では、「バスを利用しようとして乗れなかった人が、タクシーに乗ろうとして、乗り場が駅の反対側のため、困惑した」ということを聞いている。そういったことがないよう運用上の工夫をお願いしたい。
坂出市 公民連携課	・案内表示等を工夫したいと思う。

協議事項(2) 令和 6 年度決算報告および令和 7 年度予算（案）について

発 言 者	発言要旨
事務局	令和 6 年度決算報告《資料 2 に基づき説明》 ・利便増進計画推進事業については、国補助金の受領が 4 月となったため、令和 6 年度の収入支出では決算せず、令和 7 年度で決算するようになる。
監事	《監査報告》
事務局	令和 7 年度予算(案)《資料 2 に基づき説明》
議長	令和 6 年度決算報告および令和 7 年度予算（案）について、何か質問はあるか？
各委員	《質疑なし》
議長	・令和 6 年度決算報告および令和 7 年度予算（案）について、承認いただくことでご異議ないか？
各委員	《異議なしにより承認》

協議事項(3) 地域公共交通の現状報告・分科会報告について

発 言 者	発言要旨
事務局	《資料 3 に基づき説明》 ・バス利用者数については、減便に伴って全体で減少しており、特に循環バス東ルートで影響が大きい。一方で、一部利用者数が増加している路線もある。 ・デマンドタクシーについて、設定便数増加や土日祝日の運行で利用者が増加している。区域を統合した東南エリアについては、想定以上に利用者が増えてお

	り、配車にあたっての事務負担が大きくなっているという課題も出ている。 ・地域の事業者と「持続可能な公共交通の実現に向けた共創に関する連携協定」を締結し、今後取り組みを進めていく予定である。 ・TicketQR 利用率について、昨年 10 月からほぼ横ばいとなっている。 ・坂出市の取り組みが国土交通書の事例紹介資料「地域のモビリティ確保の知恵袋 2024」に掲載された。 ・インバウンド向けの利用促進に取り組んではどうかという意見があった。
議長	・分科会長の宮崎副会長から補足をお願いする。
副会長	・循環バス東ルートの利用者が減少しているということであるが、ゾーン制運賃や市民割で、他路線を利用しているということもあると思う。 ・印象的な意見としては、公共交通と直接関係はないが、インバウンドのドライバーの事故やトラブルが増えているということで、インバウンド向けの公共交通利用 PR も必要と思われる。
議長	・その他、補足説明はあるか？
委員 (バス事業者)	・3 年に 1 度の瀬戸内国際芸術祭に際してシャトルバスを運行しているが、瀬戸大橋エリア会期中の利用者 16,500 人と、コロナ禍の 3 年前と比べて 1.7 倍の利用であった。コロナ前の 2019 年度と比較しても 1.5 倍ということで、特に外国人観光客のかたの利用が目立った。 ・1 日フリー乗車券を紙媒体とデジタルで販売したところ、38 日間で 2700 枚の売り上げがあった。うち、紙媒体は 25%程度で、デジタルチケットの利用が多かった。 ・1 日フリー乗車券でシャトルバス以外の路線バスも利用できるということで、瀬戸大橋線を観光的に利用したり、岡山から利用のかたが、帰りは路線バスを利用しようという利用もあったりと、路線バスと共通の 1 日フリー乗車券が上手く機能したと思う。 ・東ルートの利用者減少もそうであるが、イオン坂出店の休業により、買い物利用が減っているという影響もあるかもしれない。 ・王越線については、路線バスが大幅に減便となり、デマンドタクシーで補っているところだが、上手く補えていない部分がある。地域で住む外国人のかたがデマンドの予約が難しく、利用できないのではないかという意見もあり、状況分析・対策に取り組んでいきたい。 ・島田岡田線や瀬戸大橋線の地域間幹線系統については、国県の地域間幹線補助を受けるために、輸送量 15 以上が補助要件になるが、現状で島田岡田線が 11.9、瀬戸大橋線が 5.9 となり、現在はコロナ特例による要件緩和の適用で令和 8 年

	度までは補助対象として認められるが、令和 9 年度以降は要件緩和を徐々に減らしていくという通達もあり、補助対象して継続することが難しい状況。国・県・市・事業者で協議して確保維持に努めていきたい。
議長	・ 1 日フリー乗車券のデジタル乗車券はどのような媒体か？
委員 (バス事業者)	・ 瀬戸内国際芸術祭の公式アプリとジョルダンのアプリを活用した。収入ベースでみてもデジタル乗車券による収入が多かった。
議長	・ 観光客にとってデジタルが使いやすいと考えてよさそうか？
委員 (バス事業者)	・ デジタル乗車券は、購入場所を確認することもできるが、岡山県で購入されているかたや、台湾での購入も多かった。観光目的で事前に調べて購入している人にとって便利だったということが想定される。
委員 (デマンド事業者)	・ デマンド東北エリアについて、上り最終便の利用者については、9 ヶ月間で 2 名のみであった。路線バスとの接続という意味で設定されているが、17 時ごろに東北エリアから中心部方面に公共交通で出かけるという需要はほとんどないと思われるので、見直しが必要と思われる。 ・ デマンド東北エリアの王越からの利用は多く、大屋富もそこそこであるが、青海、高屋からの利用は少ない。 ・ バスとの接続で乗り継ぎ通し運賃を採用しているが、乗務員の手作業により計算しているため、現場処理や事務処理が煩雑になっている。配車システムについても、手作業による修正が必要な場合があり、運用に苦慮している。 ・ デマンド東南エリアの利用で、予約があり配車をしたが、利用者が予約場所におらず、何度か電話したところ、緊急で別用が発生して利用できなくなったということであった。無断キャンセルの場合、事業者側だけでなく、乗り合いの他の利用者にも迷惑がかかるため、運輸支局とも相談し、乗用タクシーではキャンセル料の設定はないが、無断キャンセル予防のためキャンセル料の設定をしたいと思っており、ご理解いただきたい。
議長	・ 運輸支局さんとはご相談済みということでよいか？
委員 (香川運輸支局)	・ 補足として、タクシーではキャンセル料の設定がないという話があったが、デマンド交通はタクシーとは異なる乗合交通という観点で検討を行った。 ・ また、キャンセル料の徴収が目的というわけではなく、短期間で何度も無断キャンセルがあり、その抑止をしたいという旨で事業者さんから相談があったところである。

	議長 ・そういった点も含めて、キャンセル料の設定・収受については可能であるが、他の乗客の迷惑になる無断キャンセルの抑止が目的なので、事前に利用者に充分周知するようお願いしたい。 ・周知の部分が課題になるかと思うが、他の乗客に迷惑がかかるという説明が納得いただきやすいと思われるので、その点充分に周知いただきたい。 ・デマンドの運行にあたっての事業者の努力がよく理解できた。システムを導入すれば全ての課題が解決できるというわけではなく、手間が増える部分もあるということで、市民のみなさんにとって、よりよいサービス構築のために事業者さんだけでなく、こういった協議会の場でもみなさんにご理解・ご協力いただき、引き続き議論していければと思う。 委員 ・坂出駅で降りた際に、タクシーがいなくて困ったという市民の声を聞くが、実態としてはどうか？特に夜間では迎えの乗用車が多く見られ、タクシーが少ないのではと思う。 委員 (タクシー事業者) ・コロナ禍と比較して、タクシー乗務員は増えてきたが、夜間については台数が不足しており、飲食店等での予約配車等で埋まっていることが多いため、駅に待機していることが少ない。事前の予約をお願いしたい。 委員 (タクシー事業者) ・コロナで飲食店が減ったことで、夜間の需要が少なくなったということや、労度時間の問題もあり、乗務員に長時間労働をさせられないため、十分に台数を供給できないというところもある。なるべく需要に対応したいと思っているが、状況をご理解いただき、電話予約いただく等の対応をお願いしたいと思う。 議長 ・事業者のみなさんからいろいろな課題もいただいたところで、次の議題としたいと思う。
協議事項(4) 令和7年10月からの運行計画等について	
発 言 者 事務局	発言要旨 ≪資料 4-1、4-2、4-3 に基づき説明≫ ・前回 1 月協議会で取り組みの成果が確認された一方で、さらに効果を高めるための「ココロ」づくりの取り組みを推進したい。 ・各種補助金を活用しながら、モビリティマネジメントに取り組む。 ・1 月協議会でも報告した自動運転への取り組みについて、先日、国補助金の採択を受け、将来のレベル 4 運行に向けて今年度はレベル 2 による実証運行に取り組む。

	・10月からの運行にあたって、現状から運行経路の変更等は予定していないが、議題1で報告があったように、坂出駅バスロータリーが移転されることに伴い年度途中で一部経路の変更が想定されるので、その際は改めて協議会でご報告させていただく。 ・資料4-2について、自動運転への取り組みについて、計画に具体的に定めて取り組むべき内容であることから、坂出市地域公共交通計画において具体的記載を追記する変更を行いたい。 ・資料4-3について、地域内フィーダー系統確保維持事業の国庫補助金計画となるが、現在運行している令和7年度計画と同様の運行内容で申請を行いたい。目標値については、直近の実績値の1割増で設定している。 ・事業計画について、資料のとおりで、軽微な修正については事務局で対応させていただきたい。
議長	・自動運転の資料でコンソーシアムによる実施ということであるが、連携協定の枠組みを活用して多くのかたにご参画いただき、琴参バスさん、安全運転のノウハウを持つ自動車学校さんなどの協力を得て実施するという事で、ぜひとも実現いただきたいと思います。 ・その他ご意見・ご質問はあるか？
各委員	《質疑なし》
議長	・それではこの議題の各内容について、それぞれ承認いただくことでよいか？
各委員	《異議なしにより承認》

協議事項(5) バリアフリー車両の購入について

発 言 者	発言要旨
事務局	《資料5に基づき説明》 ・四国タクシーさんがUDタクシー車両を購入するにあたって、国の補助をうけるための生活交通改善計画となる。
委員 (四国タクシー)	・グループ各社で多くの車両を運行しているが、UDタクシー車両について、国から補助を受けられるが、通常車両よりも価格が高く、導入が進んでいない。 ・高齢社会のなかで、お客様の利便性向上のために、少しずつではあるが、UDタクシー車両の導入を進めていきたいと思うので、ご協力願いたい。
議長	・説明に対してご質問等はあるか？

各委員	《質疑なし》
議長	・利用者の利便性向上ということで承認いただいてよいか？
各委員	《異議なしにより承認》

協議事項(6) その他

発 言 者	発言要旨
議長	・その他として、委員の皆さんから議題やご意見はあるか？
委員 (デマンド事業者)	・利用実績が増えることに伴い、運行コストが増える一方で、補助金が事後精算となるため、売掛金が多く発生している。 ・お願いになるが、補助金の精算頻度を増やすなどして、売掛金が多くならないよう制度設計をいただきたい。
議長	・香川運輸支局さんにご回答いただきたい。
委員 (香川運輸支局)	・国の補助金支出が会計年度に縛られているため、運行事業者さんのキャッシュフローが厳しいという状況は、全国的にも発生していると認識している。 ・いただいたご意見を、四国運輸局本局を通じて国土交通省本省にも伝え、改善が図られるよう働きかけてまいりたい。
議長	・全国的にある意見ということで私も聞いているので、将来的に改善されることを期待している。
委員 (坂出市)	・坂出市からお願いになるが、議題 1 で担当課から坂出駅周辺整備に関する説明のあったとおり、今年度中に南口のバスロータリー工事を完了し、来年度には北口の整備も始まる。駅周辺の車の流れが大きく変わり、渋滞等も見込まれることになるので、市民のみなさま、交通事業者のみなさまには、ご協力をお願いしたい。
議長	・整備に伴い渋滞が見込まれるので、事故発生等がないよう、周知、協力をお願いしたい。
委員 (バス事業者)	・「RYDE PASS」アプリを活用したデジタル乗車券を新たに導入したので、報告させていただく。

委員 (坂出市)	・議題 3 で琴参バスさんからお話があったように、島田岡田線と瀬戸大橋線の地域間幹線系統補助について、令和 9 年度以降補助要件を満たすことが厳しいとのことであった。 ・特に瀬戸大橋線については、運行について国県の地域間幹線補助を受けたうえで、不足を市で支援するとともに、加えて瀬戸大橋の通行料についても県市で補助することで路線を維持しているという状況であるが、何としても維持していく必要がある。 ・路線バスという形態ではあるが、瀬戸大橋が架かる離島の生活交通ということで、離島航路に近い性質の路線とも考えている。沿線人口や現在の利用状況からして、補助要件を満たせなくなることは必然と思われるが、既存の路線バスの補助制度に当てはめるという方法だけでなく、違う形も含めて国・県・市で協力して維持を図っていく必要があると思われるので、国・県の方々にはご協力をお願いしたい。
議長	・地域にとって非常に重要な路線になるので、国・県におかれましてはご協力をお願いしたい。
委員 (デマンド事業者)	・デマンドタクシー運用に当たり、現場の乗務員・事務員からの意見であるが、複数予約があった際には、順番に指定乗降場所に立ち寄る関係で、到着が目安時間から前後することになるが、予約が多いと各乗降場所の到着目安時間をお客様にお伝えすることが難しく、お待ちいただいているケースが生じているということである。東南エリアは横に広いので、東北エリアのように地域別の目安時間を設けることは難しいかもしれないが、そういった運用の検討や、待ち時間についてご理解いただけるような周知をチラシ等でもお願いしたい。
議長	・みなさまからさまざまなご意見をいただき感謝する。 ・時間となったのでこれにて議事を終了させていただきたい。 《議事終了》